ベネズエラ情勢（内政・外交：令和４年８月）

１　内政

（１）　新型コロナウイルス感染症対策関連

	新規症例数	累計症例数	新規死者数	累計死者数	累計治癒数
1日	250名	536,086名	0名	5,763名	525,419名
2日	500名	536,586名	0名	5,763名	525,725名
3日	591名	537,177名	1名	5,764名	526,238名
4日	310名	537,487名	2名	5,766名	526,664名
5日	313名	537,800名	1名	5,767名	526,957名
6日	355名	538,155名	1名	5,768名	527,141名
7日	280名	538,435名	0名	5,768名	527,776名
8日	196名	538,631名	0名	5,768名	528,213名
9日	246名	538,877名	0名	5,768名	528,668名
10日	328名	539,205名	2名	5,770名	529,039名
11日	201名	539,406名	1名	5,771名	529,598名
12日	323名	539,729名	2名	5,773名	529,848名
13日	373名	540,102名	2名	5,775名	530,348名
14日	120名	540,222名	3名	5,778名	530,939名
15日	200名	540,422名	0名	5,778名	531,249名
16日	259名	540,681名	1名	5,779名	531,562名
17日	115名	540,796名	2名	5,781名	531,917名
18日	181名	540,977名	3名	5,784名	532,197名
19日	210名	541,187名	2名	5,786名	532,393名
20日	135名	541,322名	0名	5,786名	532,639名
21日	83名	541,405名	2名	5,788名	532,967名
22日	195名	541,600名	2名	5,790名	533,168名
23日	108名	541,708名	0名	5,790名	533,491名
24日	99名	541,807名	2名	5,792名	533,864名
25日	99名	541,906名	0名	5,792名	533,984名
26日	133名	542,039名	2名	5,794名	534,184名
27日	160名	542,199名	0名	5,794名	534,443名
28日	53名	542,252名	2名	5,796名	534,558名
29日	29名	542,281名	0名	5,796名	534,739名
30日	116名	542,397名	0名	5,796名	534,821名
31日	111名	542,508名	0名	5,796名	534,949名

（ア）　３１日、ベネズエラ航空当局(INAC)は、同日付コミュニケを通じて、同日より、自動システムBiocheck、若しくは、Pase Viajero de Bioseguridadの運用を停止し、ベネズエラ入国に際して必要な手続きは、出発地におけるベネズエラ行きの航空便への搭乗手続きの際にワクチン接種完了証明書、若しくは、ベネズエラ入国前72時間以内のPCR-RT検査陰性証明書を提示するのみに変更する旨発表した。

２　外交

（１）　グリフィス人道問題担当国連事務次長の当地訪問

（ア）　１日、マドゥーロ大統領は、グリフィス人道問題担当国連事務次長と会談した。

（イ）　１日、ホルヘ・ロドリゲス体制側国会議長は、グリフィス人道問題担当国連事務次長と、様々な関心事項に関し会談した。

（ウ）　１日、メネンデス企画担当副大統領及びマルドナド社会主義・領土開発担当副大統領は、グリフィス人道問題担当国連事務次長と、会合を実施した。

（２）　Cai Wei 中国外務省中南米カリブ局長

（ア）　１日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官及び体制側国会ベネズエラ中国友好議員連盟は、Cai Wei 中国外務省中南米カリブ司長と、両国共通の関心事項のレビューに関し、会合を実施した。

（イ）　２日、マドゥーロ大統領は、Cai Wei 中国外務省局長と、二国間の協力アジェンダをはじめとする二国間同盟の深化に関し、会談を実施した。同会談に、ベネズエラ側からニャニェス通信文化担当副大統領、マドゥーロ・ゲラ体制側国会ベネズエラ・中国友好議員連盟会長、中国側より Li 駐ベネズエラ中国大使、中国外務省及び中国大使館関係者が同席した。

（ウ）　２日、ファリア外相は、Cai Wei 中国外務省局長と、戦略的同盟及び兄弟愛、団結及び相互協力に関し、会談を実施した。

（３）　第１回ベネズエラ・ナイジェリア合同委員会

（ア）　４日、ファリア外相は、ジオフリー・オンエアマ・ナイジェリア外相と、両国間の友情及び協力関係の強化に関し、会談を実施した。

（イ）　５日、マドゥーロ大統領は、ジオフリー・オンエアマ・ナイジェリア外相及び Timipre Sylva ナイジェリア石油大臣、Sirika Hadi 航空大臣等をはじめとしたナイジェリア代表団と会談を実施した。

（ウ）　５日、ファリア外相及びジオフリー・オンエアマ・ナイジェリア外相は、二国間アジェンダの拡大に向けた第１回ベネズエラ・ナイジェリア合同委員会を開始した。

（エ）　５日、エル・アイサミ経済担当副大統領兼石油大臣は、同委員会において、挨拶の言葉を述べた。

（オ）　６日、ファリア外相及びジオフリー・オンエアマ・ナイジェリア外相は、第１回ベネズエラ・ナイジェリア合同委員会の終了の際に、農業及び航空分野をはじめとする二国間協力の重要な分野における合意及び MOU に署名した。

（４）　ニコラ・セラコビッチ・セルビア外相の当地訪問

（ア）　１１日、ファリア外相は、ニコラ・セラコビッチ・セルビア外相と、外交関係樹立１４０周年の機会に会合を実施した。同日、両外相は、協力及び友情関係の強化に向けた両国政府の意思を再確認した。

（イ）　１１日、ファリア外相は、ニコラ・セラコビッチ・セルビア外相と、観光、スポーツ及び文化に関する二国間協力の合意に署名した。

（ウ）　１１日、マドゥーロ大統領は、ニコラ・セラコビッチ・セルビア外相を歓迎した。

（エ）　１２日、カストロ農業生産性・土地大臣は、ニコラ・セラコビッチ・セルビア外相と、両国間の農業分野における協力に関する合意に向けて会合を実施した。

（５）　ベネズエラ・コロンビア二国間関係

（ア）　７日、マドゥーロ大統領は、ペトロ・コロンビア新大統領の大統領就任に祝意を表するとともに、両国民間の尊敬の意に基づいた兄弟愛の関係の再構築に向けた用意がある旨再確認した。

（イ）　１１日、マドゥーロ大統領は、駐コロンビア・ベネズエラ大使として、プラセンシア前外相を任命した。

（ウ）　１９日、コロンビア政府は、同国に拠点を置くベネズエラ石油化学公社の子会社である Monomeros 社の管轄権をベネズエラ政府に返還することを決定した。

（エ）　２３日、マドゥーロ大統領は、近々、コロンビアとベネズエラの貿易関係を再開する旨述べると共に、ベネズエラ・コロンビア二国間経済区域の創設をコロンビアに提案するであろうと述べた。

（オ）　２８日、ペニャ中南米担当外務次官は、同日ベネズエラに到着したベネデッティ新駐ベネズエラ・コロンビア大使を歓迎した。また、同日、プラセンシア新駐コロンビア・ベネズエラ大使がコロンビアに到着した。

（カ）　２９日、ファリア外相は、ベネデッティ新駐ベネズエラ・コロンビア大使より、信任状の写しを受領した。また、同日、マドゥーロ大統領は、同新大使より信任状を受領した。

（キ）　３０日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、ベネデッティ新駐ベネズエラ・コロンビア大使と、二国間協力に関し、会合を実施した。

（ク）　３０日、パドリーノ・ロペス国防大臣は、ベネデッティ新駐ベネズエラ・コロンビア大使と、相互信頼及び尊敬の再開に関し、会合を実施した。

（ケ）　３０日、エル・アイサミ経済担当副大統領及び石油大臣は、ベネデッティ新駐ベネズエラ・コロンビア大使と会合を実施し、両会合において、両国の利益となるプロジェクトに関する意見交換を実施した。

（コ）　３０日、ホルヘ・ロドリゲス体制側国会議長は、ベネデッティ新駐ベネズエラ・コロンビア大使と、両国国会の共通の関心事項及び共通のアジェンダに関し、会合を実施した。

（サ）　３０日、カベージョ統一社会党(PSUV)副党首は、ベネデッティ新駐ベネズエラ・コロンビア大使と、両国の平和に関し、会合を実施した。

（シ）　３１日、プラセンシア新駐コロンビア・ベネズエラ大使は、レイバ・コロンビア外相に対し、信任状の写しを提出した。

（６）　その他

（ア）　２日、体制側国会は、新駐カタール・ベネズエラ大使、新駐ロシア・ベネズエラ大使、新駐ノルウェー・ベネズエラ大使、新駐シリア・ベネズエラ大使を任命した。

（イ）　３日、ベネズエラは、外務省声明を通じて、米国のナンシー・ペロシ米下院議長の台湾訪問を拒絶した。

（ウ）　３日、ファリア外相は、ファイサル・ビン・ファルハーン・アール・サウード・サウジアラビア外相と、二国間協力のレビューに関し、電話会談を実施した。

（エ）　５日、マドゥーロ大統領は、ヤング・トリニダード・トバゴ・エネルギー及びエネルギー産業大臣及び Dillon 駐ベネズエラ・トリニダード・トバゴ大使をはじめとしたトリニダード・トバゴ代表団と、協力、補完性及び連帯関係に関し、会談を実施した。

（オ）　６日、ベネズエラ政府は、外務省声明を通じて、５日、キューバのマタンサス市で発生した石油貯蔵タンクの爆発による大規模火災に対する深い追悼の意を表明した。

（カ）　９日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Rashid Mohsin Fetais 駐ベネズエラ・カタ

ール大使と、カタールからの様々な分野の技術代表団の訪問に向けた準備会合を実施した。

（キ） ９日、マドゥーロ大統領は、体制側国会による現在アルゼンチンにおける米国によるコンビアサ航空の飛行機の押収に対する拒絶に関する合意案を支持する旨表明した。

（ク） １０日、ファリア外相は、メリク・バグダサロフ新駐ベネズエラ・ロシア大使と、二国間の戦略的協力の強化に関し、会合を実施した。

（ケ） １０日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Le Viet Duyen 駐ベネズエラ・ベトナム大使と、相互協力アジェンダのレビューに関し、会合を実施した。

（コ） １１日、マドゥーロ大統領は、ブラジル中央統一労働組合の代表団と、両国国民間の友好及び補完性の関係の強化に向けて、会合を実施した。

（サ） １１日、体制側国会は、ベネズエラ・ベトナム友好議連を設置した。

（シ） １２日、ファリア外相は、自身のツイッターを通じて、アルゼンチンにおける航空機及び同乗組員の抑留に関する米国政府の介入を拒絶する旨表明した。

（ス） １５日、ファリア外相は、Wagne 新駐ベネズエラ・モーリタニア大使、Adompim 新駐ベネズエラ・ガーナ大使、Motshome 新駐ベネズエラ・ボツアナ大使、アルメイダ新駐ベネズエラ・アンゴラ大使及びホセ・ゴメス新駐ベネズエラ・ニカラグア大使より、信任状の写しを受領した。なお、１６日、マドゥーロ大統領は、同大使５名より信任状を受領した。

（セ） １６日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Mulyono 駐ベネズエラ・インドネシア大使と会合を実施し、同会合において、貿易分野等における両国関係の強化を再確認した。

（ソ） １６日、ベネズエラにおいて国際軍事競技大会「国際アーミーゲーム 2022」が開始された。なお、ベネズエラが同大会の開催地となるのは初めてである。

（タ） １６日、ホルヘ・ロドリゲス体制側国会議長は、二国間の外交・通商及び友好関係の再開の促進に向けて、コロンビア上院議会とのワーキングアジェンダの作成を発表した。

（チ） １６日、マドゥーロ大統領は、５日にキューバにおいて発生した石油貯蔵タンクの爆発による大規模火災の消火活動等に参加したベネズエラ石油公社（PDVSA）に所属する消防士及び専門家４３名に対し勲章を授与した。また、同日、マドゥーロ大統領は、同石油貯蔵タンクの再建築に対するベネズエラの支援を保障した。

（ツ） １７日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、体制側国会ベネズエラ・ベトナム友好議連の会合に参加した。

（テ） １８日、マドゥーロ大統領は、両国間の協力関係強化のために当地を訪問しているメキシコ国会ベネズエラ・メキシコ友好議連の代表団と会合を実施した。

（ト） １９日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Mohd Raizul Nizam bin Zulkiffi 駐ベネズエラ・マレーシア臨時代理大使と、様々なアジェンダに関し、会合を実施した。

（ナ） １９日、ファリア外相は、Wael Deirki 駐ベネズエラ・シリア臨時代理大使と、両国間の兄弟愛及び協力関係の強化の継続に関し、会合を実施した。

（ニ） ２３日、Daniel Ramírez Herrera 民衆擁護官は、Baecque 国際赤十字委員会ベネズエラ代表と会合を行い、人権分野の人材育成に関する合意に署名した。

（ヌ） ２４日、ファリア外相は、Molchan 駐ベネズエラ・ベラルーシ大使と、両国の協力関係の強化に関し、会合を実施した。

（ネ） ２４日、ファリア外相は、ロドリゲス駐ベネズエラ・キューバ大使と、両国国民の利益となる戦略的協力の

強化継続に関し、会合を実施した。

（ノ） ２５日、ファリア外相は、Baecque 国際赤十字委員会ベネズエラ代表と、協力関係の強化に関し、会合を実施した。

（ハ） ２５日、ファリア外相は、ペニャ駐ベネズエラ・アンゴラ大使と、経済及び社会関係の推進に関し、会合を実施した。

（ヒ） ２６日、パドロン観光大臣は、ベネズエラが、2023 年 1 月 3 日から、欧州発のクルーズ船の受け入れを再開する旨述べた。

（フ） ２６日、マドゥーロ大統領は、外務省声明を通じて、２４日にアンゴラにおいて実施された大統領選挙に対する祝意を表明した。

（ヘ） ２６日、マドゥーロ大統領は、ヒル・フェルナンデス・キューバ副首相兼経済・計画大臣と会合を実施した。

（ホ） ２８日、マドゥーロ大統領は、汚職の罪で禁固 12 年の求刑を受けたフェルナンデス亜副大統領に対し連帯の意を表明した。

（マ） ２９日、ファリア外相は、Mohamed Salem 新駐ベネズエラ・サハラ・アラブ民主共和国大使より、信任状の写しを受領した。また、同日、マドゥーロ大統領は、同新大使より信任状を受領した。

（ミ） ２９日、デルシー・ロドリゲス副大統領及びファリア外相は、Maseko 駐ベネズエラ・南アフリカ大使と、戦略的な協力関係の強化に関し、会合を実施した。

（ム） ３０日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、在ベネズエラ・インド大使館によるサンスクリット語の授業の開校式に参加した。

（メ） ３０日、ステラ・ルゴ新駐アルゼンチン・ベネズエラ大使は、フェルナンデス亜大統領に信任状を捧呈した。

（モ） ３１日、ファリア外相は、汚職の罪で禁固 12 年の求刑を受けたフェルナンデス亜副大統領に対する迫害を拒絶する旨表明した。

（了）